

中小企業成長支援ファンド  
「MIC6号投資事業有限責任組合」  
に出資を行う組合契約を締結

独立行政法人中小企業基盤整備機構（理事長：宮川正 本部：東京都港区）は、ファンド出資事業（中小企業成長支援ファンド）において、MIC6号パートナーズ有限責任事業組合を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合に対し、中小機構出資分として25億円を出資することで合意し、組合契約を締結いたしました。

「MIC6号投資事業有限責任組合」はモバイル・インターネットキャピタル株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：元木 新）が運営するベンチャーキャピタルファンドであり、主にデジタル・テクノロジーを活用した新産業分野において革新的な技術やビジネスモデルを有するスタートアップ企業への投資を行います。創業期から成長期にかけての企業を対象に、資金提供に加え、事業戦略の構築、経営人材の支援、事業提携先の紹介等を通じて、企業価値の向上を総合的に支援することを目的としています。

引き続き中小機構では、ファンドへの出資を通じて、成長志向の高い中小企業・スタートアップへのリスクマネー供給を促進するとともに、全国9カ所の地域本部等が有する支援ツール等を最大限に活用しながら、企業の成長と発展を支援して参ります。

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

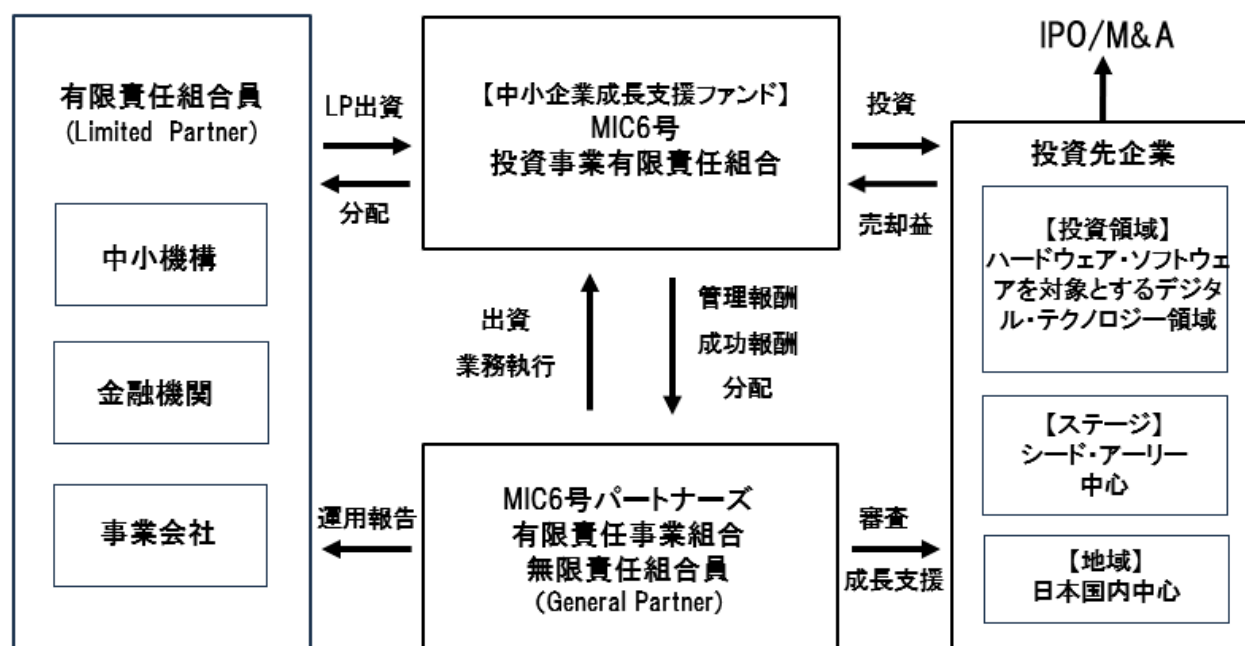
中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小企業・小規模事業者・スタートアップのイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

<本件に関するお問い合わせ先>  
独立行政法人 中小企業基盤整備機構  
ファンド事業部 ファンド事業課（担当者：山本、林）  
住所：東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル  
電話：03-5470-1673（ダイヤルイン）

### ◆ 「MIC6 号投資事業有限責任組合」の概要

- 「MIC6 号投資事業有限責任組合」は、MIC6 号パートナーズ有限責任事業組合を無限責任組合員として設立された投資ファンドです。
- MIC6 号パートナーズ有限責任事業組合は、パートナーである元木 新氏、海老澤 観氏、稲垣 泰仁氏を中心に構成され、AI インフラの普及等の技術革新が継続的に起こっているデジタル・テクノロジー分野、ならびにデジタル・テクノロジーを利活用する DX 領域の関連成長分野におけるシード・アーリーステージのスタートアップを主な投資対象として投資を行います。企業のバリューアップにおいては、事業・知財・ガバナンスまで踏み込み、企業価値の本質的な向上を支援していきます。

#### <スキーム図>



#### <制度の内容及び実績について>

##### 中小企業成長支援ファンドについて

[https://www.smr.j.go.jp/supporter/fund\\_investment/fbrion0000004bys-att/supportter\\_fund\\_investment\\_02.pdf](https://www.smr.j.go.jp/supporter/fund_investment/fbrion0000004bys-att/supportter_fund_investment_02.pdf)

##### 中小機構ファンド出資実績

[https://www.smr.j.go.jp/supporter/fund\\_investment/fbrion0000004bys-att/a19vbo000000dz0x.pdf](https://www.smr.j.go.jp/supporter/fund_investment/fbrion0000004bys-att/a19vbo000000dz0x.pdf)